

令和4年度学校経営計画

学校名 東広島市立入野小学校

学校長名 門長 幸江

I 学校の状況

学級数	8 学級	児童・生徒数	174名	教職員数	19名
メールアドレス	nyuno-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/nyuno-sho/				

II 教育目標

夢と志をもち 主体的に生きる児童の育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

<p>ミッション：確かな学力と社会性を身に付け 自ら伸びようとする児童の育成 かんがえる子・・・自分の考えをもち 友達と協力して問題を解決する がんばる子・・・目標をもち その実現に向けて粘り強く取り組む やさしい子・・・相手のことを考えた表現ができる けんこうな子・・・基本的な生活習慣が身についている</p> <p>ビジョン：信頼される学校づくり ・行くのが楽しくなる学校・環境の整った美しい学校 ・保護者・地域に開かれた学校</p>
--

IV 中期経営目標及び短期経営目標

目項	点重	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	自ら学ぶ態度の育成と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的な学びに向けた授業改善 ○学力の定着と向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○「問い」を引き出す工夫やグループ学習を効果的に取り入れて授業を行う。 ○生徒指導の三機能を生かした授業チェックリストを活用し日々の授業改善を行う。 ○ICTを活用したドリル学習を行い、基礎基本の定着を図る。 ○複数体制で支援の必要な児童への指導を重点的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。【児童評価 85%以上】 ・NRT、標準学力調査標準スコア(国語・算数)【低50%以上 高53%以上】 ・正答率40%未満の解消【40%未満の割合を前年度未満にする】
豊かな心	2	社会生活を円滑に進めていける資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の協働性と自己有用感の向上 ☆東広島スタンダードの定着(重点項目 挨拶・返事) 	<ul style="list-style-type: none"> ○縦割り班活動や行事等を通して、他学年の良いところを見つけるようにする。また、良かったところなどをお手紙など書いて他学年同士が交流できるようにする。 ○委員会活動や高学年を中心に、あいさつレベルが向上するような取組を呼びかける。また、高学年がお手本を見せるなどする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで話し合っ決めてことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。【児童評価 90%以上】 ・あいさつレベル3以上の児童【児童評価 80%以上】 【職員評価 70%以上】
健やかな体	3	健やかな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○運動や外遊びの奨励 ☆メディア利用の適正化による基本的な生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○委員会活動を中心に、外遊び奨励の全校での取組を企画、実行すると共に、環境整備を進める。 ○メディア利用に関する指導やメディア教室を実施し、児童にメディアについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や外遊びが好き。【児童評価 80%以上】 ・メディア利用2時間以内【児童評価 90%以上】
信頼される学校	4	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○業務改善の推進 ○地域・保護者に開かれた学校の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職と教職員との対話を通して教職員の改善意欲を高める。 ○業務の適正化により、教員が子供と向き合う時間を増やす。 ○アンケート(地域・保護者)の分析から改善計画・実施を図り、児童の育ちを地域・保護者に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が掲げた目標に向かって仕事ができている。【職員評価 90%以上】 ・子供と向き合う時間(授業準備等含む)が確保できている。【職員評価 85%以上】 ・学校は、学校の様子をわかりやすく伝えている。【保護者評価90%以上】

V 学校評価

(1) 学校評価システムの組織(構成者を含む)

自己評価委員会	校長 教頭 教務主任 生徒指導担当 研究主任 保健主事
学校運営協議会	他校教員 学識経験者 PTA 地域住民 校長 教頭 教務主任 生徒指導担当 研究主任 保健主事

(2) 自己評価及び学校関係者評価の実施計画(公表方法を含む)

マネジメントサイクルによる改善	自己評価委員会による自己評価表の作成(4月) ⇒説明(保護者5月, 学校運営協議会6月) ⇒実践 ⇒保護者・児童アンケート等の結果分析を参考にして, 全教職員による自己評価(10月, 2月) ⇒改善方策の明確化 ⇒学校運営協議会(10月, 2月) ⇒実践 ⇒東広島市教育委員会への報告
公表方法	WEB, たより 等

